

高等学校 令和5年度 教科 科目 家庭科

教科：家庭科 科目：2 単位
 対象学年組：第2学年 組～組
 教科担当者：吉岡百合子
 使用教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 東京書籍 701)
 教科 #REF! の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。

科目 家庭科 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	家庭科の学び方 生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう	レポート、ワークシート	○	○	○	2
第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標をもって生きる 自立した生活を営むために生涯発達の見点からライフステージの特徴と課題を理解する	・今までの自分を客観的に振り返らせる。 ・「18歳成年時代」の自立について特に考える。 ・職業適性診断を行い職業について考える ・ライフコースの参考になる各種例や資料を示し集めさせる	○自分分析シート ○自分自身をプレゼンスル ○生涯発達のワークシート ○職業適性診断ゲーム	○	○	○	4
第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 社会制度としての家族と法律を理解する	社会制度としての家族と法律を理解する。 仕事と家族の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する	○結婚相手ニ求める条件調査 ○ワークライフバランスレポート ○家族の法律ワークシート ○定期考査	○	○	○	8
第7章 衣生活をつくる 社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 被服の管理や手入れができるようにする	・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	○基礎縫いテスト ○マスコット製作 ○品質表示、取り扱い表示に関するワークシート ○定期考査	○	○	○	12
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 生活の中で問題点を探り改善するために方法を考える	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	○ホームプロジェクトレポート ○定期考査	○	○	○	4
第3章 子どもとともに生きる 1 命を育む 命に対する責任や性と生殖について理解する 2 子どもを育つ力を知る 子どもの生まれつき持っている能力を知る	・奇跡のような出会いから命が始まる事を知り自分自身の命、他者の命の大切さを理解させる ・子どもの生まれつき持っている力のすべてに意味がある事を研究する ・遊びが子どもの発達に影響することを知る	○心と身体の発達段階についてのワークシート ○子どもの発達段階別の遊びをグループで作り発表する ○定期考査	○	○	○	10
第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 高校生の食の問題点を知る 2 食事と栄養 健康のための栄養について理解する 3 食事計画 生涯の健康を見通すための食事計画を立てられるように	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する ・献立作成や調理実習を取り入れて実践的な力をつける	○献立作成レポート ○お弁当作り ○調理基礎実技テスト ○幼児のおやつ作り ○味の相互作用について ○食中毒に関するワークシート ○定期考査	○	○	○	14
第4章 超高齢社会を共に生きる 超高齢、大衆長寿社会の到来 超高齢社会の背景を理解する ・高齢者の心身の特徴を理解する	・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。	○高齢者体験 ○レポート ○定期考査	○	○	○	6
第9章 経済生活を営む ・消費者の権利と責任 消費者に権利と責任がある事を知る ・生涯の経済生活を見通す 生涯安定した経済生活を営むように考える	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	○人生設計レポート作成 ○ライフイベントでの必要金額を調べる ○外食と内食の費用を計算し、実際に調べる	○	○	○	4
第8章 住生活をつくる ・住居の機能を知る	生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する	○ワークシート ○へー人暮らしの平面図を作成	○	○	○	6
						合計
						70

令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	吉岡		
教科の名称	家庭科		
科目の名称	生活デザイン		
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 東京書籍		
指導学年・学科	3年選択者		
単位数	2単位		
科目の目標	家庭基礎で学んだ知識, 技術を実生活で活用できる実践能力を高める。		
評価の観点	態度:食に関する課題を見つけ, 改善, 充実しようとする積極的な態度 技能:技術の向上度合		
月	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	布のリメイクをする	使用していない服の布地でポーチをつくる。	8
5月	和菓子製作	季節に合った和菓子作りを行う。行事と食の関わりを学ぶ	8
6月	調理実習物理的膨化の研究	生地が膨らむ原理を知り, 技術を身につける。パウンドケーキの膨らみをいろいろな膨化剤を使い検証する(実験)	8
7月	調理実習ゲル化剤と食卓デザイン	ゲル化剤の種類と性質について知識を深め, 効果的に活用できるようになる。寒天とゼラチンの違いを知る。夏らしいゼリー類の盛り付けを考える。	6
8月			
9月	立体構成をする	自分の身体に合った服を型紙からつくる(立体構成)	10
10月	電子レンジを使用した調理実習	電子レンジを使用し効果的に活用できるようになる。	8
11月	小麦粉の用途と食卓デザイン	小麦粉の種類について知識を深め, 効果的に使用できるようになる。強力粉を使いパン作り パンの形をデザインする	6
12月	世界の食文化と食卓デザイン	世界の食文化について知識を深め, 調理実習を通して理解を深める。	4
1月	パーティー料理を考える	行事に適した料理の自由献立をグループ毎に考える。盛り付けなどを工夫して食を演出できるようになる(自由献立)	4
2月	食材の活用と食卓デザイン	食材を生かした調理方法を考案し, 調理実習できるようになる。テーブルウェア製作	4
3月	おもてなし料理と食卓デザイン	各テーマに合う料理, 食卓装飾ができるようになる。	4
		合計	70